

# YUASA REPORT

第 146 期 2024.4.1-2024.9.30

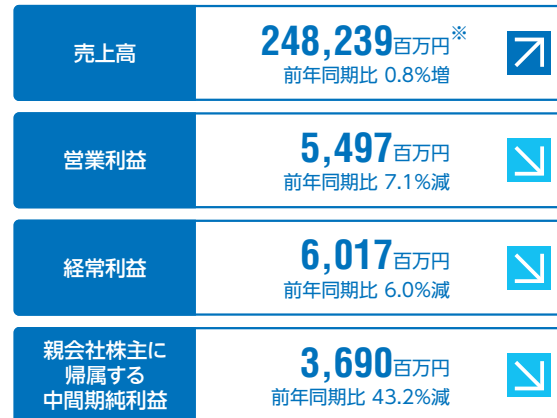




代表取締役社長 田村博之

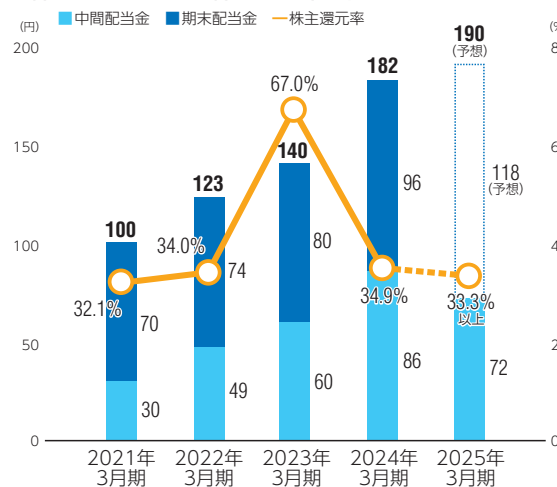
# 価値創造を「結果」につなげ 3期連続の最高益達成へ

2025年3月期中間期 経営成績



\*収益認識基準適用後

1株当たり配当金と株主還元率の推移



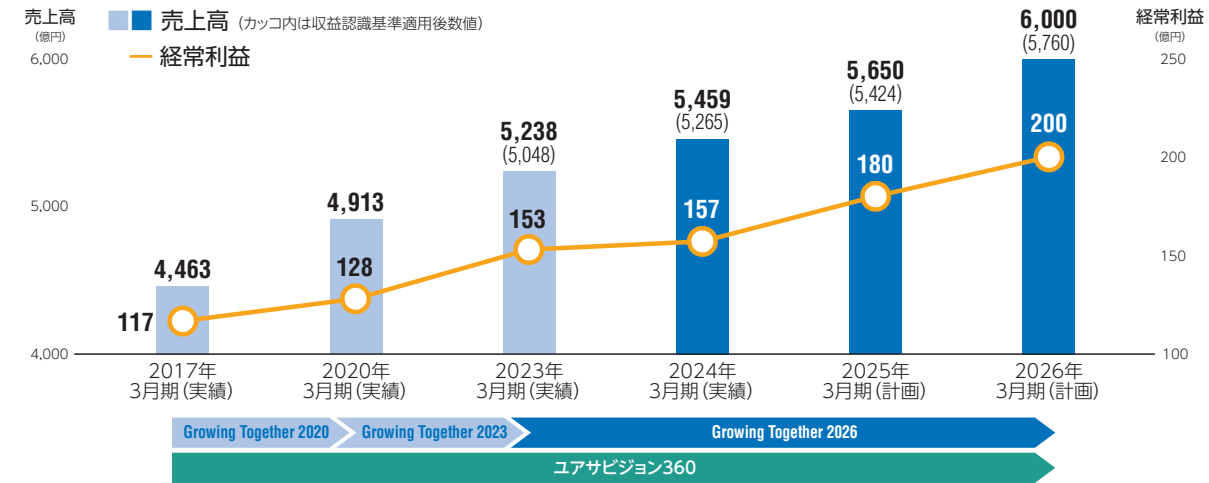
株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年からスタートした中期経営計画「Growing Together 2026」<sup>P4参照</sup>の2年目となる今期は、最終年度の目標である「売上高6,000億円(収益認識基準適用後:5,760億円)・経常利益200億円」の実現のため「結果にこだわる」年と位置づけております。「収益性<sup>P5参照</sup>と成長性<sup>P6参照</sup>の向上」をより確かなものとし、増収ならびに3期連続となる最高益の達成に向け取り組んでおり、通期での業績伸長に向け引き続き「社会課題の解決」につながる付加価値の高い商品・サービス提案を進めてまいります。

特に海外戦略<sup>P8参照</sup>の推進に向け、来年2月にタイで開催する総合展示会「YUASA Grand Fair in THAILAND」は、40年超の歴史を有する「グランドフェア」における初めての海外開催です。200社近くのメーカーの皆様にご出展をいただき、新たな海外プロモーション

## 長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年(創業360周年)に向けた定量計画



の確立に向け、グループ一丸となり取り組んでまいります。

また、建設を進めておりましたタイの新社屋が本年10月に竣工いたしました。新社屋は、最新の「つなぐ」ソリューションをはじめとする当社グループの取り扱い商品をご覧いただけるショールーム機能を有し、社会課題の解決に貢献する様々な提案を発信していきます。

さらに、インドにおいては国内3か所目の拠点となるプネ支店が同じく10月より営業開始しております。今年度中にはもう1か所の拠点を新設予定で、南アジア地域への積極展開を進めてまいります。

海外ネットワークの強化に向け、南アジア3か国に6社・7拠点のネットワークを有する工作機械ディーラーのHENKOグループの株式を本年4月に取得いたしました。国内においては、鍛圧板金市場への拡販に向け「板金DX」に貢献するソフト・ハードの開発・販売を行うアルファTKG社への出資を8月に行いました。同社の板金加工ノウハウや先進技術の活用により提案力・開発力を強化し、モノづくり現場の生産性向上を通じた社会課題の解決に取り組めます。

また、当社としては30年ぶりの新設国内営業拠点となる「九州中央営業所」(熊本県熊本市)を本年10月に開設いたしました。中九州工

Growing Together 2026における投資方針

投資項目	Growing Together 2026	
	計画	内容
海外事業	60億円	●M&A投資
グリーン事業		
デジタル事業	40億円	●南アジア(タイ・インド)強化投資 ●商品・サービス開発投資 ・「つなぐ」イノベーション開発
レジリエンス&セキュリティ事業		
新流通事業		
シェアリング事業		
介護・医療事業		
食品事業	●機能強化投資 ・人材開発 ・営業プロモーション強化 ・ロジスティクス基盤整備	
農業事業		
コア事業		
DX ITデジタル投資	112億円	●データ活用基盤の構築など
合計	212億円	

リアにおける営業力強化を図るとともに、持続的な成長に向け、今後も国内外を問わず成長投資を継続してまいります。

本中期経営計画期間における株主還元については「株主還元率33%以上」「株主資本配当率(DOE)3.5%以上」を方針として定めております。2025年3月期の配当は期初計画どおり年間合計で190円とし、4期連続での増配となる予定です。

株主の皆様におかれましては、何卒相変わリませぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



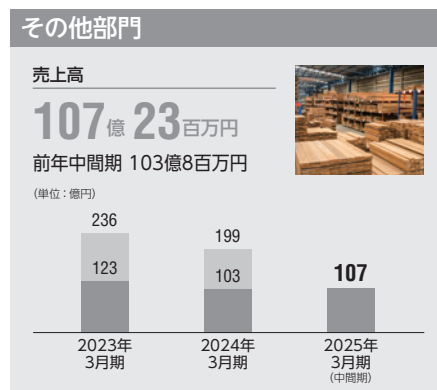
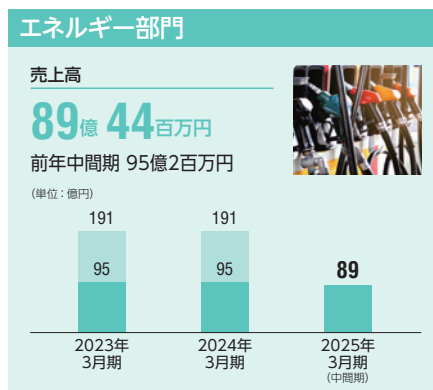
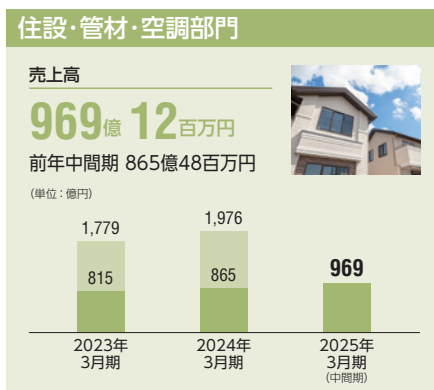
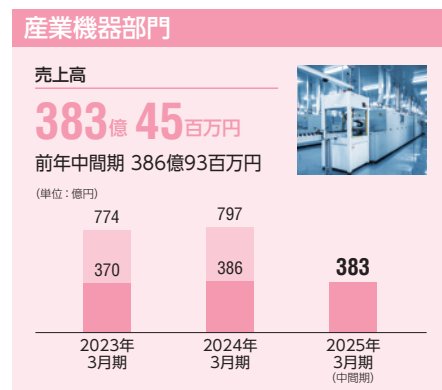
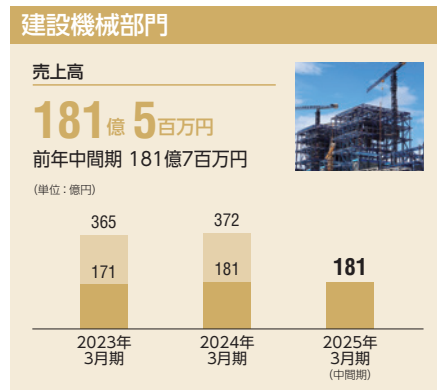
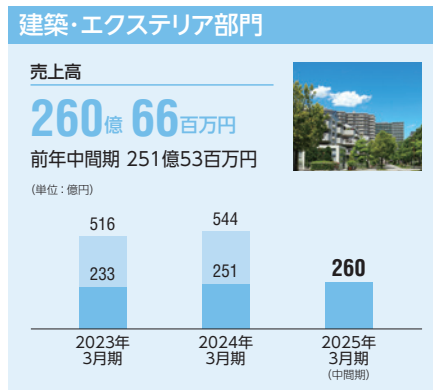
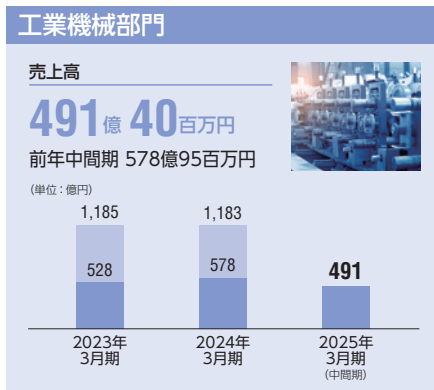
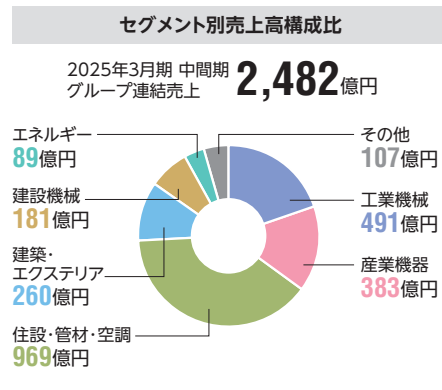
## 2025年3月期 中間期決算の概要

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比0.8%増の2,482億39百万円となりました。利益面につきましては、営業利益が54億97百万円(前年同期比7.1%減)、経常利益は60億17百万円(前年同期比6.0%減)となりました。また、親会社株主に帰属する中間期純利益は、前年に退職給付信託返還益を32億55百万円計上したことの影響などにより、前年同期比43.2%減の36億90百万円となりました。

工業分野では、自動車関連産業を中心とした設備投資需要は引き続き低調となった一方、半導体製造・航空分野などにおいては復調傾向が見受けられました。建設・住宅分野では、都市部を中心とした民間の再開発需要は堅調に推移したものの、戸建てを中心とした新設住宅着工戸数は引き続き弱含みで推移しました。海外では、米国で景気の拡大が続くとともに、タイ、インド、インドネシアなどでも景気が底堅く推移した一方、中国では景気回復の動きに足踏みの状況がみられました。



2025年3月期 中間期決算説明会資料と  
当社代表取締役社長の田村による  
説明動画を公開しております。  
[https://www.yuasa.co.jp/ir/library/  
financial-report/](https://www.yuasa.co.jp/ir/library/financial-report/)



※組織再編により、工業機械部門および住設・管材・空調部門の2024年3月期の実績値は遡及適用後の数値になっています。

## 全体図と定量計画

ビジネスモデルを変革し既存取引ネットワークを発展させることにより、既存事業・成長戦略を国内外で拡大します。



### 財務KPI

単位：億円(未満切り捨て)

	2026年3月期計画
売上高	5,760*
営業利益	190
経常利益	200
経常利益率	3.4%
当期純利益	132
自己資本利益率(ROE)	11.8%
株主還元率	33.0%以上
株主資本配当率(DOE)	3.5%以上

※売上収益認識基準適用後

### 非財務KPI (CO2排出量以外の指標はユアサ商事単体を対象)

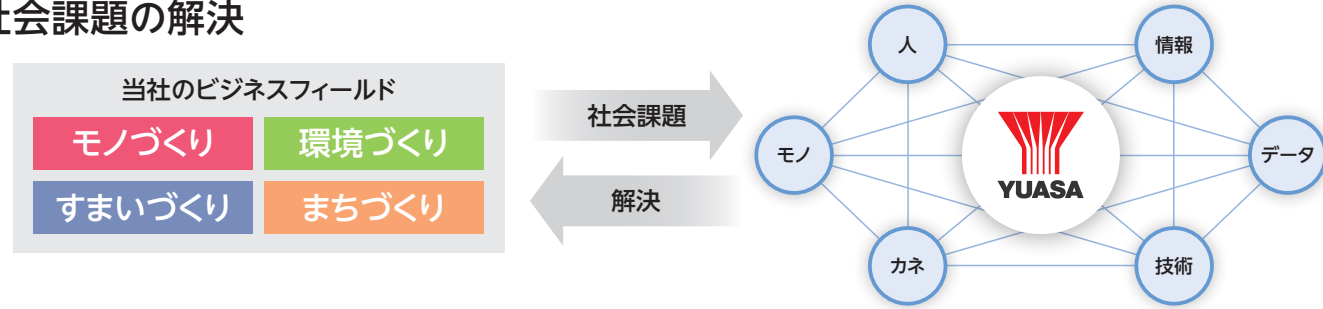
	2026年3月期計画
CO2排出量*1	30%削減 (2023年3月期比)
女性管理職比率	3.0%
女性総合職比率	6.0%
女性総合職採用率	12.0%
男性育休および育児目的休暇取得率	100.0%
有給休暇取得率	70.0%
平均労働時間	1,920時間
マネジメント人材育成 ※研修プログラム受講人数(のべ)	370名
デジタル人材育成 ※当社独自プログラムの合格者	IT人材: 600名*2 DX人材: 40名*3

\*1 当社グループのScope 1、2に対する目標…2023年3月期実績 6,682(t-CO2)  
\*2 IT人材…ITツールやデジタル技術を自らの業務に活かし、デジタル施策の実行ができる人材  
\*3 DX人材…データ分析結果を活用し、マーケティングと経営戦略に特化した知識により新たな企画立案を行い推進する人材

## 収益性の向上

### 「つなぐ」イノベーションによる社会課題の解決

「つなぐ」イノベーションにより、「人」「モノ」「カネ」に加え当社グループ・取引先ネットワークが有する「情報」「技術」「データ」等をつなぎ、社会課題を解決することで新たな価値を創出し、収益性の向上を実現します。



### 収益性向上に向けた取り組み

**モノづくり**

**AI外観検査装置 [F[ai]ND OUT EXW]を開発**

グループ会社でAI開発を手掛けるconnectome. design株式会社と共同で開発した、外観検査ソリューションの最新バージョンです。従来、ラインの上部にのみ設置されていたカメラをライン下部にも設置したことで、製品の表面と裏面の同時検査が可能となりました。

良品学習に対応し、既存のラインに簡単に導入できる点が特徴で、食品や金属部品製造現場の検品作業の省人化・省力化に貢献します。

**モノづくり** **環境づくり**

**省エネ商材「ecomо (エコモ)」 10の国と地域で総代理店契約を締結**

「ecomо」は、工場などのトランス(変圧器)に設置して電力効率を高める装置で、ものづくり現場へのカーボンニュートラル提案として推進しています。

今回当社は、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インド、米国、メキシコ、中国、台湾における独占的な販売権を獲得しました。日系企業のみならず現地企業に対する省エネソリューションの一環として、販売を強化していきます。

**まちづくり**

**「ウォーカブルなまちづくり」全国各地での実証実験に参画**

国土交通省が推進する、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルなまちづくり」の一環として全国で行われている実証実験に参画しています。

当社取引先メーカーおよびグループ会社とを「つなぎ」、滞在空間の創出・賑わいづくり・安全対策の各方面で活動する商材をトータルコーディネートして提供しています。人口減少や少子高齢化による社会課題の1つである「地域の活性化」への貢献を通じ、その解決に取り組んでまいります。

## 成長戦略の推進

成長戦略は「既存コア事業の拡大を目指す分野」と「強みを新たな市場へ展開する分野」から構成され、また各事業を「全社推進事業」と「エリアや組織別に推進を図る事業」に定義し、持続的な成長のために取り組みを強化します。

全社推進事業	エリアや組織別に推進するターゲット市場・チャレンジ領域																																					
<b>コア事業の拡大を図る事業</b>	<b>新市場</b>																																					
<b>海外事業</b>	<b>レジリエンス&amp;セキュリティ事業</b>	<b>介護・医療事業</b>																																				
<p><b>南アジア(タイ・インド等)を中心に注力</b> P8参照</p> <p><b>取扱高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>298</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>281</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>650</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	298		2024年3月期	281		2026年3月期		650	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>215</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>344</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>350</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	215		2024年3月期	344		2026年3月期		350	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>58</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>191</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>250</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	58		2024年3月期	191		2026年3月期		250
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	298																																					
2024年3月期	281																																					
2026年3月期		650																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	215																																					
2024年3月期	344																																					
2026年3月期		350																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	58																																					
2024年3月期	191																																					
2026年3月期		250																																				
<b>グリーン事業</b>	<b>新流通事業</b>	<b>食品事業</b>																																				
<p><b>省エネ・再エネ・蓄エネソリューションを展開</b></p> <p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>340</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>500</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>600</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	340		2024年3月期	500		2026年3月期		600	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>177</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>174</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>250</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	177		2024年3月期	174		2026年3月期		250	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>29</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>63</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>160</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	29		2024年3月期	63		2026年3月期		160
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	340																																					
2024年3月期	500																																					
2026年3月期		600																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	177																																					
2024年3月期	174																																					
2026年3月期		250																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	29																																					
2024年3月期	63																																					
2026年3月期		160																																				
<b>デジタル事業</b>	<b>シェアリング事業</b>	<b>農業事業</b>																																				
<p><b>現場の省人化・省力化を推進</b></p> <p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>117</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>130</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>400</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	117		2024年3月期	130		2026年3月期		400	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>19</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>19</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>100</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	19		2024年3月期	19		2026年3月期		100	<p><b>売上高</b> (単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績</th><th>計画</th></tr> <tr><td>2023年3月期</td><td>21</td><td></td></tr> <tr><td>2024年3月期</td><td>77</td><td></td></tr> <tr><td>2026年3月期</td><td></td><td>100</td></tr> </table>	年次	実績	計画	2023年3月期	21		2024年3月期	77		2026年3月期		100
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	117																																					
2024年3月期	130																																					
2026年3月期		400																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	19																																					
2024年3月期	19																																					
2026年3月期		100																																				
年次	実績	計画																																				
2023年3月期	21																																					
2024年3月期	77																																					
2026年3月期		100																																				



## 取引先ネットワークの拡大

### つなぐ グランドフェア 2024 開催報告



受注および来場実績

地域	受注高実績	ご来場者実績
関東	929.5億円	16,300名
東北	103.1億円	6,924名
中部	263.0億円	11,528名
関西	301.1億円	12,022名
九州	111.0億円	7,583名
合計	1,707.7億円	54,357名

仕入先様の会「炭協会」・販売先様の会「やまずみ会」とともに、当社最大のプロモーションイベントである「グランドフェア」を今年も全国5会場で開催いたしました。各会場では最新の「つなぐ」ソリューションの展示に加え、カーボンニュートラルや人手不足などへの対策をご紹介するセミナー・展示なども行われました。

### 関東グランドフェアにおいて「資源循環」への取り組みを実施

スタッフ用食堂にて、リサイクル可能な紙パック飲料「カートカン®」※による飲料水の提供を実施しました。飲み終えて空になった容器は専用ゴミ箱を設置し分別回収を行ったうえで、TOPPANの委託先工場へ輸送し、紙抄造の資源としました。

#### ※「カートカン®」

TOPPAN(株)が提供する、間伐材を含む国産材を利用した紙製飲料容器。従来の紙容器と違い、容器内面にアルミフィルムを使用していないため紙資源としてリサイクル可能な点が特長。

今後も当社の展示会では

省エネ

脱プラ

ゴミ削減

に取り組んでいきます!



資源循環のステップを示したポスター

### 海外戦略の推進

## 2025年2月、海外初の「グランドフェア」をタイ・バンコクで開催



2025年2月5～7日に「YUASA Grand Fair in Thailand」をタイ・バンコクで開催いたします。バンコク国際貿易展示場(BITEC・右写真)を舞台に「タイと日本の文化をつなぐ」をテーマとした総合展示会として、日本から200社近くのメーカーが出展予定です。海外初の「グランドフェア」の成功を通じ、新たな海外プロモーションの確立を目指します。

## 海外拠点機能の強化:タイ新社屋竣工&インド3か所目の拠点をプネに新設



タイ・バーナー地区にて建設していた新社屋(写真)が本年10月に竣工いたしました。

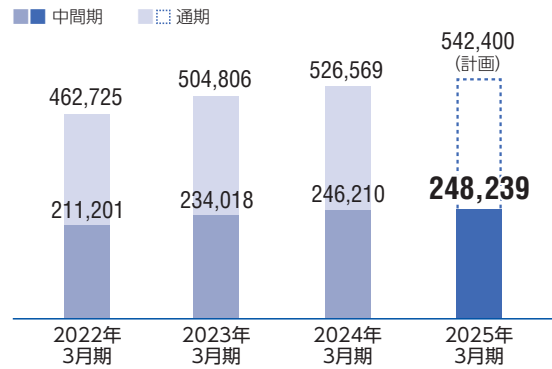
現地で展開する2法人の新たな拠点となる新社屋は4階建てで、最新の「つなぐ」ソリューションをはじめとした取り扱い商品をご覧いただけるショールームを併設しています。

また、インドではバンガロール、グルガオンに続く国内3か所目となるプネ支店を新設、同じく10月から営業を開始しました。海外事業の推進に向け、引き続き拠点機能の強化を進めてまいります。

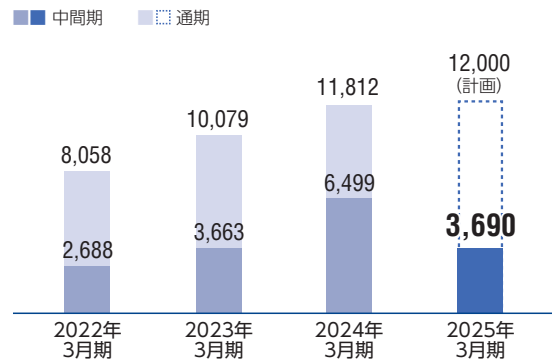


## 財務ハイライト

### 売上高 (百万円)

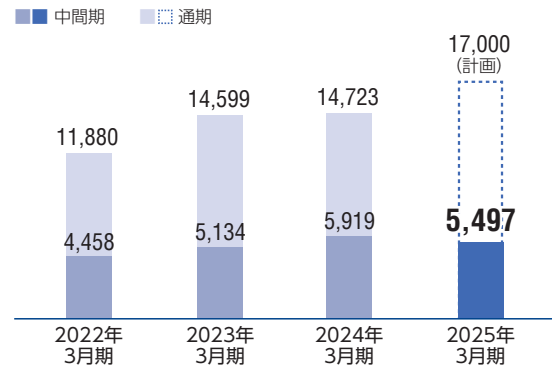


### 親会社株主に帰属する中間期(当期)純利益 (百万円)

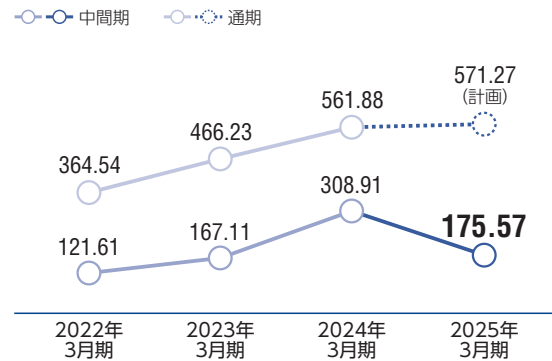


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

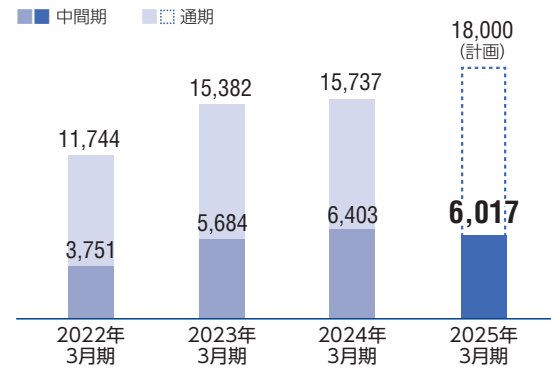
### 営業利益 (百万円)



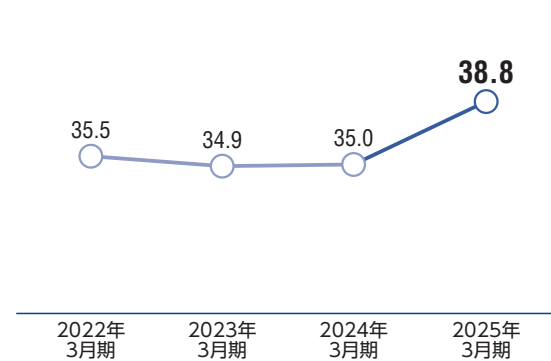
### 1株当たり中間期(当期)純利益 (円)



### 経常利益 (百万円)



### 自己資本比率 (%)



## 会社概要／株式情報

### 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 ユアサ商事株式会社  
YUASA TRADING CO.,LTD.  
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地  
創業 1666年(寛文6年)3月  
設立 1919年(大正8年)6月25日  
資本金 20,644百万円  
従業員数 2,725名(連結) 1,245名(単体)

### 取締役および監査役 (2024年9月30日現在)

名前	役職	管掌
田村 博之	代表取締役社長	兼 海外事業推進担当
田中 謙一	代表取締役専務取締役 経営管理部門統括	兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長
濱安 守	常務取締役 営業部門統括	兼 工業マーケット事業本部長 兼 (株)国興代表取締役会長 兼 ユアサネオテック(株)代表取締役会長
大村 貴臣	取締役 営業部門副統括	兼 建設マーケット事業本部長 兼 ユアサ木材(株)代表取締役会長 兼 富士クオリティハウス(株)取締役 兼 ユアサ燃料(株)代表取締役会長
竹尾 希典	取締役 住環境マーケット事業本部長	兼 スマートエネルギー事業部長 兼 ユアサクオビス(株)代表取締役会長 兼 浦安工業(株)代表取締役会長 兼 ユアサプライムス(株)代表取締役会長
前田 新造	取締役(社外)	
平井 嘉朗	取締役(社外)	
光成 美樹	取締役(社外)	
町田 悠生子	取締役(社外)	
古本 好之	監査役(常勤)	
前野 威	監査役(常勤)	
本田 光宏	監査役(社外)	
加城 千波	監査役(社外)	

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

### 国内ネットワーク (2024年9月30日現在)

国内拠点	主な国内グループ会社
31拠点 (8支社、13支店、10営業所)	産業機器 株式会社国興 中川金属株式会社
	工業機械 ユアサネオテック株式会社 ユアサクオビス株式会社
	友工商事株式会社 浦安工業株式会社
住設・管材・空調	株式会社マルボシ 株式会社サンエイ 株式会社高千穂 フシマン商事株式会社
	建設機械 ユアサマクロス株式会社 富士クオリティハウス株式会社 株式会社丸建サービス
エネルギー	ユアサ燃料株式会社 ユアサプライムス株式会社
その他	ユアサ木材株式会社 ユアサシステムソリューションズ株式会社

### 海外ネットワーク

主な海外グループ会社	
湯浅商事(上海)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

### 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 40,000,000株  
発行済株式総数…………… 22,100,000株  
(自己株式859,581株を含む)  
株主数…………… 7,211名  
※単元株式数は100株であります。

### 大株主 (上位10名) (2024年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,502	11.78
BNYM AS AGT/CLTS 10PERCENT	997	4.69
ユアサ炭協持株会	941	4.43
光通信株式会社	911	4.28
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	894	4.20
株式会社日本カストディ銀行	770	3.62
東部ユアサやまざみ持株会	646	3.04
西部ユアサやまざみ持株会	606	2.85
野村信託銀行株式会社	571	2.68
ユアサ商事社員持株会	519	2.44

- 千株未満は切り捨てて表示しております。
- 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
- 当社は自己株式859千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(206千株)は含まれておりません。
- 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2,502千株  
株式会社日本カストディ銀行 770千株



### TOPICS

## 役員構成の多様化推進による コーポレート・ガバナンスの強化

本年6月の株主総会にて、新たな役員体制が発足いたしました。新任1名を含む4名の社外取締役を選任し、2名の社外監査役を含め役員(13名)に占める女性(3名)の割合は23%となりました。今後も引き続き、役員構成の多様化を通じたコーポレート・ガバナンスのさらなる強化に取り組んでまいります。

### 新任社外役員の紹介



社外取締役 **町田 悠生子**  
弁護士(第二東京弁護士会)  
五三・町田法律事務所パートナー

#### 【重要な兼職の状況】

- ・ 東洋電機製造(株)社外取締役
- ・ 第二東京弁護士会  
労働問題検討委員会副委員長
- ・ 東京紛争調整委員会委員

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html">https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

## トピックス

### 熊本に「九州中央営業所」を開設しました

本年10月より、九州中央営業所（熊本市西区）が営業開始いたしました。当社としては30年ぶりとなる国内の拠点新設となり、熊本をはじめとする中九州エリアの営業拠点として、ネットワークのさらなる拡大に取り組んでまいります。

#### ユアサ商事株式会社 九州中央営業所

〒860-0047  
熊本市西区春日1丁目12番3号 KFGビル3階  
TEL：092-577-3360 FAX：092-577-3380



### 統合報告書（紙面・Web）を発行しました



当社事業内容やサステナビリティをはじめとするESGへの取り組みをまとめた「YUASA INTEGRATED REPORT（統合報告書）2024」を発行いたしました。トップメッセージや中期経営計画・成長戦略の紹介に加え、社外取締役による座談会の模様などを掲載しております。下記、当社ホームページよりぜひご覧ください。

#### 2024年度版 統合報告書

<https://www.yuasa.co.jp/ir/annual-report/2024/>



### 動画配信のご案内



当社ホームページにて、2024年3月期中間期決算説明会の動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.yuasa.co.jp/ir/library/financial-report/>

